

令和7年度 再評価調書

事業名	林道開設事業（森林基幹道）	路線名	ひろおかいけがたにせん 広岡池ヶ谷線											
事業主体	徳島県	関係市町村	海陽町(旧宍喰町)											
事業	【目的】 当林道は宍喰川の支流である広岡川南岸の東西に延びる稜線部に位置し、一体に広がる人工林地帯の森林整備を行う上での基盤として整備するもので、森林の適正な管理や保全、効率的な森林施業を推進することにより、森林の有する多面的機能の持続的発揮や中山間地域の雇用の増進を図ることを目的とし、ひいては地球温暖化防止や循環型社会の形成に役立つものと期待される。													
	概要	【内容】 利用区域面積 137ha [人工林面積:84ha (61%)] 受益戸数(森林所有者数) 14戸 幅員 3.6m 計画延長 1,740m 総事業費 600,000千円 事業予定期間 令和2年度～令和11年度 (10年間)												
評価	【事業の進捗状況】 令和2年度から令和11年度の10か年の計画で開設延長1,740mを計画しており、令和6年度末時点で979mを完了しており進捗は56.3%で、今後の5か年で完成の見込みである。 <div style="text-align: right;">[進捗率:56.3%] (全体進捗)</div>													
	【関連事業の整備状況】 当該路線の沿線では、支線となる森林作業道が開設され、森林整備が盛んに実施されている。今後も搬出間伐をはじめとした森林整備が実施される予定である。													
	【社会経済情勢の変化】 本県は県土の約76%を森林が占め、その内スギ・ヒノキなどの人工林の割合は約6割を占めており、森林資源量はこの40年間で約3倍にまで増加し、その大部分が利用可能な状態まで成長している。 利用期を迎えた豊富な森林資源を活用するとともに、カーボンニュートラルにも資するサステナブルな林業(伐って・使って・植えて・育てる)を進め、林業・木材産業の成長産業化を図るためには、いかに木材を安定的に生産・供給できるかが課題となっていることから、高性能林業機械の導入に対応した林内路網の核となる林道の整備は特に重要となっている。													
評価	【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】 無し													
	【費用対効果の分析】 今後開設によって、137haの森林資源の活用が可能となる。 開設事業の進捗により更に森林整備が進んでいく見込みである。 <div style="text-align: right;">[社会的割引率]</div> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">[費用対効果]</td> <td style="text-align: center;">1.03</td> <td style="text-align: center;">[4%]</td> <td style="text-align: right;">(国の採択基準は1.0以上)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1.49</td> <td style="text-align: center;">[2%]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1.82</td> <td style="text-align: center;">[1%]</td> <td></td> </tr> </table>			[費用対効果]	1.03	[4%]	(国の採択基準は1.0以上)		1.49	[2%]			1.82	[1%]
[費用対効果]	1.03	[4%]	(国の採択基準は1.0以上)											
	1.49	[2%]												
	1.82	[1%]												
項目	【受益者・関係機関の意向】 当林道の開通により、地域内のアクセスが容易となり生産性の向上が図られ、国土保全や公益的機能の発揮及び強化に向けた、森林の適切な整備、保全を推進する基幹的な林道として海陽町や地元関係者等から早期完成を強く要望されている。													
	【事業の実施方針】 継続して事業を実施する。													